

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和4年度】

主管課(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業区分	■実施計画 □重点プロジェクト
事務事業名	感染症拡大防止対策事業(保健課)	事業番号	12871

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1	健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち	

## 2 事務事業の目的

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療施設、学校施設等において、従事者が早期に検査結果を行える環境を整えることにより、集団感染を未然に防止するとともに、従事する方が、高い危機意識を保ちつつ、安心して働ける環境を維持することを目的とする。</li> <li>市民の命と健康を守る医療等の現場において定期的に医療資機材を供給することにより、医療現場における感染予防を徹底する。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の医療・介護・福祉・保育施設等に対し市が配布した抗原定性検査キットにより、従事者等自身で検査を行い、キット使用報告を毎月いただくことで、使用状況を確認する。</li> <li>感染拡大防止対策の取組状況について現地確認する。</li> </ul>
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2							
	R3							
	R4	【事業概要1】抗原定性検査キットを配布し、出勤後に発熱や風邪等の症状がある時や、従事者の地方への出張時等に抗原検査を行い、短時間で検査結果を得ることで、施設での集団感染を未然に防止する。 【事業概要2】医療機関等に対し医療資機材(サージカルマスク、グローブ、消毒液等)を定期的に供給支援する。						
	R5	-						
	R6	-						
	事業費と内訳	(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費
事業費				21,175			21,175	
内訳		国庫支出金			21,175			21,175
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源						
人員(人工)				0.08			0.08	
職員費(人員×7,513千円)				601			601	
総事業費				21,776			21,776	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R3)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	抗原定性検査キット配布数	10,000回分	-	-
	医療資機材を配布する医療施設等事業者数	16機関(100%)	-	-
	医療資機材の配布回数	3回	-	-
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の医療・介護・福祉・保育等の現場で働く従事者は、自身が感染する、感染の媒介者になるかも知れないという不安の中、抗原定性検査キットを活用することにより、施設内における集団感染の未然防止とともに、従事する方が高い危機意識を保ちつつ、安心して働ける環境づくりに結び付けている。</li> <li>・感染症対策を講じることでクラスターの抑制に結び付けている。</li> </ul>
-------------------	--

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある    □ニーズはある    □ニーズはあまりない</p> <p>市民が利用する医療施設等の感染拡大を防止することで、市民の感染拡大抑止に結びついている。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである    □市の実施について検討の余地あり    □市以外で実施可能である</p> <p>抗原検査キットや医療資機材については全国的に品薄状態であり、市が必要数を取りまとめ配布することで安定的な供給に務めている。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い    □緊急性はある    □緊急性はない</p> <p>市内でも感染拡大がみられる中で、感染症対策は緊急的に必要とされる。</p>
エ. 手段の適切性	<p>□適切である    ■現状として妥当である    □検討の可能性はある</p> <p>医療資機材等については、安定的な供給な再開できておらず、検査体制については、濃厚接触者等に対する抗原検査キットを用いた簡易検査を行うことで、施設の感染発生を抑制できることから手段として妥当である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い    □概ね公平である    □改善の余地はある</p> <p>各施設等には随時間き取りを実施し、実状に応じた配布を行っている。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い    □本事業の有効性がある    □既存事業と大きな差はない</p> <p>市内での感染拡大を受けて市民からも不安の声が多くある中、医療福祉施設等の感染対策を講じることの有効性は高い。</p>

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>各医療機関と連携を図りながら安定的な医療提供体制の確保・維持に努められるとともに、安心して働ける環境の維持に努められたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当    □再検討し実施する    □着手を延期する</p> <p>抗原定性検査キット・医療資機材を活用することにより、施設内における集団感染の未然防止とともに、従事する方が高い危機意識を保ちつつ、安心して働ける環境づくりに結び付けて参りたい。</p>